

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
1	乳幼児健康診査(4か月児、1歳6か月児、3歳児)	◇ 4か月児 96% ◇ 1歳6か月児(歯科) 84% ◇ 3歳児(内科) 90%	◇ 4か月児 95.2%(対象者数6,160人、受診者数5,863人) ◇ 1歳6か月児(歯科) 86.5%(対象者数6,327人、受診者数5,474人) ◇ 3歳児(内科) 92.1%(対象者数6,013人、受診者数5,536人)	◇ 4か月児 96%以上 ◇ 1歳6か月児(歯科) 84%以上 ◇ 3歳児(内科) 90%以上	◇ 4か月児 B ◇ 1歳6か月児(歯科) A ◇ 3歳児(内科) A	◇ 4か月児は増加するも目標値に届かず ◇ 1歳6か月と3歳は継続的な実施により目標達成
2	幼児歯科健康診査(1歳6か月児、2歳児、2歳6か月児、3歳児)	3歳児のむし歯のない子の割合 82% 歯科健康診査受診率 1歳6か月児 84% 2歳児 80% 2歳6か月児 25% 3歳児 89%	3歳児のむし歯のない子の割合 86.9% 歯科健康診査受診率 1歳6か月児 86.5% 2歳児 77.2% 2歳6か月児 33.2% 3歳児 91.5%	3歳児のむし歯のない子の割合 85% 1歳6か月児 85%以上 2歳児 81%以上 2歳6か月児 30%以上 3歳児 91%以上	◇ 3歳児のむし歯のない子の割合 A ◇ 1歳6か月児 A ◇ 2歳児 C ◇ 2歳6か月児 A ◇ 3歳児 A	◇ 2歳児は、目標値に達していないが、年度により微増、微減を繰り返している。横ばい。(25年度79.3%) ◇ 未受診者に対し、再勧奨、再々勧奨の対策を行っているが、受診に結びつかない家庭があるのが現状である。
3	「母親学級」および「パパとママの準備教室」	母親学級土曜日開催数 0回 パパとママの準備教室開催回数 43回 参加人数 1,900人	母親学級土曜日開催数 12回 パパとママの準備教室開催回数 46回 参加人数 2,597人	母親学級土曜日開催数 12回 パパとママの準備教室開催回数 48回 参加人数 2,900人	◇ 母親学級土曜日開催数 A ◇ パパとママの準備教室 B	◇ 母親学級は、平成23年度より土曜日開催実施により目標達成。 ◇ パパとママの準備教室は、開催数を順次増やしているものの目標開催回数に届かず。

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
4	こんにちは赤ちゃん事業 (乳児家庭全戸訪問事業 新生児等訪問指導事業 産婦訪問指導事業)	新生児等訪問指導実施率 87% 産婦訪問指導実施率 87%	新生児等訪問指導実施率 93.2%(対象者数5,887 人、訪問数5,484人) 産婦訪問指導実施率 91.5%(対象者数5,887 人、訪問数5,386人)	新生児等訪問指導実施率 90%以上 産婦訪問指導実施率 90%以上	新生児等訪問指導実施率 A 産婦訪問指導実施率 A	◇目標値達成
5	教育相談室の増設	◇教育相談室3か所設置 練馬教育相談室、光が丘 教育相談室、関教育相談 室	◇調査・研究	◇教育相談室4か所設置 練馬教育相談室、光が丘 教育相談室、関教育相談 室、(仮称)大泉教育相 談室	◇教育相談室 C	◇3か所設置から変わらない
6	がん検診 (胃がん・肺がん・大腸が ん・子宮がん・乳がん)	(平成21年度実績、冊子 掲載) ◇胃がん 5.8% ◇肺がん 10.1% ◇大腸がん 20.1% ◇子宮がん 19.7% ◇乳がん 16.1% (平成22年度末見込み) ◇胃がん 7.0% ◇肺がん 9.7% ◇大腸がん 21.2% ◇子宮がん 20.8% ◇乳がん 19.7%	◇胃がん 8.0% ◇肺がん 9.9% ◇大腸がん 22.6% ◇子宮がん 20.0% ◇乳がん 19.4%	◇がん検診受診率 50% (胃がん・肺がん・大腸が ん・子宮がん・乳がん)	(平成21年度実績、冊子掲 載との比較) ◇胃がん B ◇肺がん D ◇大腸がん B ◇子宮がん B ◇乳がん B	◇目標値は、本計画策定時は、平成19年6月に国が 策定した基本計画にもとづいていた。 ◇個別通知の発送、無料クーポン券の送付、再受診 勧奨ハガキの送付などの取り組みを行っているが、 受診率は微増である。 ◇肺がん検診の受診率低下の原因は、平成24年度か ら40歳以上の健康診査受診者に対し「一般胸部エッ クス線検査」を実施した影響によるものである。

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
7	子宮頸がん予防ワクチン接種事業	◇中学3年生の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの接種を開始	【接種率(実施率)】 ◇中学1~3年生: 86.5% ◇対象者(対象実施数): 27,345人(回) ◇接種者(実施数): 23,663人(回)	◇子宮頸がん予防ワクチンの接種率 85%	◇子宮頸がん予防ワクチンの接種率 A	◇ただし、平成25年6月14日厚労省通知「積極的勧奨の差し控え」により接種率の低下が見込まれる。
8	練馬区国民健康保険特定健康診査	(平成21年度実績) ◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 41.3%	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 42.1%	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 65%以上	◇練馬区国民健康保険特定健康診査受診率 B	◇微増するも目標値に達せず
9	メタボリックシンドローム対策事業	(平成20年度実績) ◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 6,147人	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 5,479人 ◇H20と比較し、668人減(10.9%削減)	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 10%以上削減	◇メタボリックシンドローム該当者・予備群の人数 A	◇目標値達成
10	禁煙支援事業	(平成21年度実績) 喫煙率 男性 28.7% 女性 9.5% 禁煙希望者の割合 男性 49.3% 女性 62.3%	◇喫煙率、禁煙希望者については、平成25年度練馬区健康実態調査にて把握予定 ◇H25調査結果 喫煙率 男性 23.2% 女性 9.8% 禁煙希望者 男性 35.8% 女性 63.4%	喫煙率 男性 20%以下 女性 6%以下 禁煙希望者の割合 男性 60%以上 女性 80%以上	◇喫煙率 男性 B 女性 D ◇禁煙希望者の割合 男性 D 女性 B	◇喫煙率 男性は下がったが目標に届かず。女性は目標に届かず悪化。(男性は全世代で減少。女性は30歳代、40歳代、60歳代で微増) ◇禁煙希望者 男性は減少、女性は増加するも目標に届かず

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
11	健康手帳の発行	(平成21年度実績) ◇運動習慣者の割合 20.8%	◇次回調査(H25予定)ま でわからない ◇H25調査結果 運動習慣者の割合 20.8%	◇運動習慣者の割合 39%以上	◇運動習慣者の割合 C	◇横ばい
12	自殺予防対策事業の充実	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 747人	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 1,171人	◇ゲートキーパー養成数 受講者累計 1,200人	◇ゲートキーパー養成数 B	◇相談機関としての区窓口の役割の重要性を鑑 み、職員研修の機会を増やしているが目標数 には達せず ◇26年度末達成見込み
13	介護予防普及啓発事業 (一次予防事業)	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 43.6%	-	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 50.0%	◇意識して介護予防に取り 組んでいる高齢者の割合 A	◇25年度高齢者基礎調査では、53.4%
14	高齢者センター・敬老館・敬 老室の活用	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 19,500人 (実績12,854人)	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 10,159人	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 22,000人	◇高齢者センターと敬老 館・敬老室の個人利用登 録者数 C	◇例年と同じ傾向とのこと
15	練馬区健康づくりサポーター の育成と自主的活動の支援	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 70% (実績68.8%)	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 64.1%	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 90%	◇練馬区健康づくりサポ ーターの活動参加率 D	◇減少している。 ◇同じ志を持つサポーター同士を引き合わせ、仲 間づくりを推進するためのサポーター研修会や サポーター連絡会を開催するなど、支援方法の 変更に取り組んでいる。

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
16	受動喫煙防止のための分煙化推進	◇区内事業者と共同で、受動喫煙防止のための完全分煙施設設置をモデル事業として検討します。	◇屋内喫煙所設置助成0ヶ所	◇区内に完全分煙施設の設置が進み、受動喫煙防止対策が進展した状態	◇区内に完全分煙施設の設置が進み、受動喫煙防止対策が進展した状態 E	◇1か所設置したが、受動喫煙防止対策が進展した状態と言えるかは疑問
17	乳幼児のいる親子の食事講習会	◇乳幼児のいる親子の食事講習会受講者数 保健相談所6所合計 6,000人 (実績4,344人)	◇乳幼児のいる親子の食事講習会受講者数 保健相談所6所合計 8,509人	◇乳幼児のいる親子の食事講習会受講者数 保健相談所6所合計 9,000人	◇乳幼児のいる親子の食事講習会受講者数 保健相談所6所合計 A	◇25年度 10,141人 (1歳4,541人) (3歳5,600人)
18	ふれあい給食	(平成21年度実績) ◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 3,734人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 3,959人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 4,000人	◇ふれあい給食参加者数 区立保育所60園 A	◇25年度 5,107人
19	「(仮称)練馬区立小中学校における食育推進計画」の策定	◇平成19年度に策定された「練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。	◇平成24年度から平成26年度までを計画期間とする「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進しました。	◇平成24年度に策定した「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。	◇平成24年度に策定した「第2次練馬区立小中学校における食育推進計画」に基づいて、食育を推進します。 A	◇次期計画では目標値の見直しが必要
20	バランスのよい食事の普及啓発	(平成21年度実績) ◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 35.5%	◇H25調査 37.9%	◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 60%以上	◇栄養バランスなどに配慮した食生活を送っている区民の割合 B	◇増加するも目標値に達せず
21	「食」のほっとサロン	◇「食」のほっとサロンの会場数 14会場	◇「食」のほっとサロンの会場数 17会場	◇「食」のほっとサロンの会場数 増加	◇「食」のほっとサロンの会場数 A	◇増加した

重点事業における評価および評価理由

評価方法（以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました）

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
22	農業体験農園	◇(平成21年度実績) 農業体験農園 15園	◇16園	◇農業体験農園 20園 ◇長期計画後期実施計画において、目標値17園に修正	◇農業体験農園 B	◇増加するも目標に達せず
23	練馬大根育成事業	◇生大根の販売 約1,800本 ◇沢庵漬けの販売 約5,700本 ◇収穫体験 約750本 ◇練馬大根引っこ抜き競技大会 約4,000本 ◇伝来種保存事業	◇生大根の販売 2,480本 ◇沢庵漬けの販売 5,850本 ◇収穫体験 750本 ◇練馬大根引っこ抜き競技大会 4,000本 ◇伝来種保存事業	◇生産者の協力を得ながら、練馬大根の生産本数を増やしていきます。	◇生産者の協力を得ながら、練馬大根の生産本数を増やしていきます。 A	◇販売数増加 ◇収穫体験と引っこ抜き大会は人気。 ◇料理の提供も開始。
24	食育推進講演会	(平成21年度実績) ◇「食育」に関心をもっている人の割合 68%	◇H25調査 73.0%	◇「食育」に関心をもっている人の割合 90%以上	◇「食育」に関心をもっている人の割合 B	◇増加するも目標に達せず
25	食のサポーター育成と自主的活動の支援	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 70%	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 64.1%	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 90%	◇食を通じた練馬区健康づくりサポーターの活動参加率 E	◇活動参加率の定義(月2回以上)が現実的ではない。 ◇活動参加率は減少しているが、支援のあり方そのものを見直し、区の食育事業への協力の機会を広げるなどの取り組みをしている。
26	食育推進ネットワーク会議	(平成21年度実績) ◇「食育」という言葉を知っている人の割合 83%	◇H25調査 85.3%	◇「食育」という言葉を知っている人の割合 95%以上	◇「食育」という言葉を知っている人の割合 B	◇増加するも目標に達せず

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
27	健康危機管理対策本部の設置・運営	◇熱中症の区内発生状況について「健康危機管理対策本部」(幹事会)を開催 ◇「健康危機管理マニュアル」の改訂	◇健康危機管理対策本部幹事会開催 4回	◇緊急時には、必要に応じて健康危機管理対策本部を設置・運営し、関係機関との連携を図り、事態に対応します。	◇緊急時には、必要に応じて健康危機管理対策本部を設置・運営し、関係機関との連携を図り、事態に対応します。 A	◇評価項目の再考が必要か?
28	麻疹風しん混合ワクチンの接種率向上	◇麻疹風しん混合ワクチン接種率 1期 97.6% 2期 97.6%	◇麻疹風しん混合ワクチン接種率 1期 93.9% 2期 91.9%	◇麻疹風しん混合ワクチン接種率 1期 100% 2期 100%	◇麻疹風しん混合ワクチン接種率 D	◇21年より下がっている。25は上がっているはず
29	食品衛生講習会	◇食品衛生講習会の実施回数 30回	◇食品衛生講習会の実施回数 35回	◇食品衛生講習会の実施回数 40回	◇食品衛生講習会の実施回数 B	◇増加するも目標に達せず
30	営業施設などの衛生環境の確保	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 93.5%	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 86.0%	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 90%以上	◇理化学検査による水質の衛生水準適合率 C	◇横ばい
31	安全な食生活環境の確保	◇収去検査における食品などの基準不適合率 10.8%	◇収去検査における食品などの基準不適合率 9.4%	◇収去検査における食品などの基準不適合率 5%以下	◇収去検査における食品などの基準不適合率 B	◇不適合率は減少するも目標値に達せず
32	休日急患診療事業	◇受診者数 18,138人	◇受診者数 13,766人	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇「高い水準」の定義がはっきりしないが、満足度アンケートでは好評価を得ている。
33	練馬区夜間救急こどもクリニック事業	◇受診者数 6,337人	◇受診者数 4,674人	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇「高い水準」の定義がはっきりしないが、満足度アンケートでは好評価を得ている。

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
34	地域医療推進事業補助(かかりつけ医紹介等電話件数)	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 2,687件	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 1,734件	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 2,800件	◇「かかりつけ医」の紹介などの電話相談件数 C	◇地域医療推進事業補助については、近年重要性が増している在宅医療や災害時医療に関する事業についても補助対象としている。 ◇目標指標とした「かかりつけ医」などの紹介電話件数の妥当性については、次期計画策定で検討する。
35	心身障害者(児)および在宅要介護高齢者歯科診療事業	◇延べ治療件数 2,932件	◇延べ治療件数 2,730件	◇高い水準で現状を維持していきます。	◇高い水準で現状を維持していきます。 A	◇高い水準で現状を維持している。
36	病床確保対策事業	◇既存病院の増築・増床や新病院整備を行うための調査検討、および用地候補となる土地の事例検証をします。	◇既存病院の増築・増床や新病院整備を行うための調査検討、および用地候補となる土地の事例検証をします。	◇既存病院の病床を200床増やし、新病院整備のための工事に着手します。	◇既存病院の病床を200床増やし、新病院整備のための工事に着手します。 B	◇既存病院の増築・増床や新病院整備について、引き続き調査検討を着実に進めたため。
37	医療従事者確保の支援	◇看護職員フェア 2回開催 12名	◇看護職員フェア 2回開催 16名(H23からの累計は28名)	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が、平成23年度からの累計で40人を超える予定です。	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が、平成23年度からの累計で40人を超える見込み B	◇事業継続により、潜在看護師の区内医療機関への再就職が着実に増えている。

重点事業における評価および評価理由

評価方法 (以下のabcdeの組み合わせで右のように評価しました)

- a. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が良い値である
- b. 平成22年計画策定時の値に対し、平成24年実績が悪い値である
- c. 平成24年実績が平成26年目標値を超えている
- d. 平成24年実績が平成26年目標値に至らない
- e. 平成22年計画策定時の値と平成24年実績が同値もしくは妥当な理由がある

資料 1 - 3

a かつ c a かつ d e b かつ d 目標値の不備等	A 目標値に達した B 目標値に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 評価困難
--	--

No	重点事業名	22年度 (計画策定時)	24年度実績	26年度目標値	評価(中間)	評価理由等
38	災害時医療救護体制の構築	災害医療運営連絡会 1回 災害医療運営連絡会専門 部会 4回	災害医療運営連絡会 1回 災害医療運営連絡会専門 部会 4回	◇災害時医療救護体制を構築していきます。	◇災害時医療救護体制を構築していきます。 A	◇災害時医療救護体制を構築している。
39	「地域医療計画」の策定	—	◇平成23年度に引き続き区民、学識経験者、区内医療関係者などと検討を行い、平成25年3月に練馬区地域医療計画を策定しました。	◇より充実した「地域医療計画」とします。	◇より充実した「地域医療計画」とします。 A	◇平成25年3月に練馬区地域医療計画を策定した。